



ピュンピュン オハルショウ

「こ、こんなのダメだよ…」

「なに言ってるの…配達途中にオジさんを撥ねたの君でしょ」

「でもでも…こんなトはあ…」

「お金ないから、代わりにオジさんの治療してくれるって約束じゃない」

「ええ？制服破っちゃダメえ…」

「ほらほら、おじさんの怪我したト…
どんどん腫れてくるよ…あかねちゃん
のお口でしゃぶって早く冷やしてよ」
「制服…また買わなきゃ…高いのに…
んぐ…指なんて…嫌っ…んぐううッ」



『ほらほら、あかねちゃん…
もっとお口を大きく開けて』

『うええ…臭いよあ…こんなの飲みたくない…』

『やだ…こんなの…変だよ…』

『○学生マン○に種付けサイン！』

『なに言ってるんの、まだまだ
順番が回ってこないんだから
可愛い口で御奉仕してくれよ』

『あっ…何が…ビュクビュクって…
嫌あっ…入ってくる…あかねの中に
変な感じのが…入ってくるよあ…』



『ほら判るだろ…あおいちゃんの膣内に
赤ちゃんの素がドクドク入っていくのが…』

『いや…もう…ごんなの嫌あッ！』

『休んでないでコツチもしっかり…
うっ…あおいちゃんの唇がもの凄く
気持ちイイ…全部飲み干してよ♥』

「嫌…なのに…変なの…何か…
体が熱くて…頭…ポっつて…」

『おっ？あおいちゃんの
マンコも気持ちイイって
蠢いてるよ…イクことを
憶えたみたいだね…』

『だめえ…私…もう…
おかしくなっちゃっ♥』

しゅわん

んむう

ん

『ほら…せ…として欲しい
時はどうするんだっけ?』

『あ…あの…お願いします…』

もつとオチンチン…欲しい…ごめ…』

『ん? 聞こえないよ?』

『あおい…の…セ…でいっはい…』

○学生なのは…グチヨグチヨになってる
オマンコはいい…もつと…もつと…いい
オチンチン欲しい…して下さいいッ』

『あくあ、あんな可愛らしかったのに
もう只のピツ子になつちやったね』



幸せ…
です…
♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

グチヨ
グチヨ
グチヨ

グチヨ
グチヨ
グチヨ

『ほら見てごらん…ももちゃん女の子
なのオチンチン生えちやコえるよ』

「はわっ…わ…わたし…女の子なのに
はうん…おちんちんから…オミツッ…
みたいなの…出ちやってるよあ…」

オチンチン

はうん

わっ

あわ

はうん

あうん

『じゃあ…そろそろ○学生のちんちん
マンコに突っ込ませて貰おうかな』

「ダメだよあ…もあ…やめてよあ…」



『いや〜さすがは○学生マンコだわ…
超キツキツ難で、すぐ出ちやっただわ』

『も、もう…やめて…これ以上
…酷い事しないで…許して…』

『なに言ってるんの？友達の分も
自分がって言ったの君じゃんか』

はま。

ひゅっ…

『だって…こんなの…置いてな…』

『ほらほら、まだまだ順番待ちが
いるんだから弱音を吐くなよ』

した

ふんっ

『いや…もう許して…
誰か…助け…嫌あッ』

トロッ

「あんっ♡…くる…また…
来てる…ビュクビュクって
…熱いのがたくさん♡」

「また膣内射精してイクたよ…
もう、すっかり生姦の虜だね」

「わらひい…○学生なのにい…エツクになるう…
とんたんエツクになっちゃうう…きやううん♡」

はっはっはっ♡

イクイク♡

イク♡

『安心しなよ、まだ
○学生だし…後十年
位は俺達が精液便所
として使ってやるよ』

「…イツひや…♡
また…イクのが…
とまらないいい♡」

『ほらほら、その巨乳で俺達の精液をちくやんと搾らないと…お友達にも扱いて貰う事になるよ』

「そんな…みんなまで…」

「でも…私のオツパイ…男の人の白い…とれなくなっちゃう」

『君と違くてオツパイないから当然マンコに突っ込むけどね』

「…ダメ…頑張らない…」

『せ』と激しく扱いて…』

「ああ…オツパイに出される…でも…みんな…私…頑張るからもっと…頑張れるから…ね…」

『んっ？どっした…甘い声が出てるぞ…』

『だ、誰が…そんなわけ…あん♡』

『まんっがキュウキュウいっごんぞ』

『んうっ…きうっ…ひめ♡』
『ほら舌だせ、舌…』

はぁ
あっ♡

『あええ♡…こんな…イク♡
こんなのらめえんんうっ♡』



『あんなに強気だったのに
一番墮ちるのが早かったな』

『ふああ…嬉しいよあ…れいの
オマニツのナカがあ…セーミ
いっぱいなのあ…♡』

『ほらほらピツ手な○学生の
れいちちゃん、もくと手ン手ン
扱かないと扱いちゃうよ…』

『しゅごいのお♡…れいのお…お口も…手も…
身体中がセーミ塗れえ♡…オマニツの白いが
いっぱいねえ…とれなくなっちゃうのあ…♡』

『中尉殿が一線から引かれて我々の負担増ですのでせめて性欲の処理を願います!』

『やめ…こんなこと…はひっ…して…只で済…あえあえ』
『ケツとマンコに于ンポ振じ込まれて喜んでる女に浸まられても説得力がありません』

『中尉殿が本当は乱暴にされるのが好きなマゾなのは心得ております!』

『ひきい…やめ…壊れ…壊れちゃうあ♡』

わらひ……

壊れひゃ

ううう

ごんごん

『カンタ…後で憶えて…んひひい♡』

『ハッ!モ』と激しくでありますね! 了解であります…牝ブタ中尉殿♡』

『えあおえッ…イクッ♡イク♡イク♡いびっ♡いびっ♡いびっ♡いびっ♡』

「しろくまカネ」
シロクマくん
×
笹子さん

特別手当て
出そうか？

獣姦
これは…お客さん
取ったら儲かるね

ええっ!?…それは…
ちよつと…無理です

んっ…
はいっ♡
んっ…
嬉しいですよ

んっ
ちっ…違い
ますよお…
あふっ♡

…笹子さんって
獣姦趣味だよ

人間のワタシなんかと
交尾してくれる色々な
動物の方々が変わって
いるんですよ…♡

ああ…
…やっぱりね…

はっ♡
はんっ♡



＝発行者＝
釣りキチ同盟

- 梅玉奈部
- 坂本 サルトムント練馬

＝発行No.＝
392 (オフ)



表題の
ピンとピント☆は
大石まさる先生作の
『嬉し眺ずがし俺の
人生こうだったら良
かったのに』と読者
が思う名作です→